

## 2018年11月 江の島フリートレースレポート

この日は、冬の江の島の北風とはならず、ぽかぽか陽気の風待ちから始まりました。海上での風待ちをして12時前によく入ってきた海風の中で2レース実施することが出来ました。

今回私は、人生で初めのスタンダードセーリングだったこともあり、とても楽しくフリートレースに臨むことが出来ました。レースはかなりライトコンディションで行われ、アベレージで風速2メートルくらいだったように感じました。しかし、今までラジアルに乗っていた私にとってこれはむしろ絶好のコンディション！！いつもは我慢我慢と走っていた軽風でしたが今日はとても滑っていく感覚で、普段とは全く違う艇に乗っているような気分になりました。いつもは軽風のスピードでは他艇に劣ることの多い私でしたが、今日は68キロという体重のアドバンテージをいかして、いいスピードに乗ることが出来ました。

また、マーク2のセールはロールタックが決まるたびに素晴らしい音を奏でてくれます。タックのたびにセールの音が鳴るといのは今までレーザーしか乗っていなかったため初めての経験で、これは私にとって快感以外の何ものでもありませんでした。そのため、細かな風の振れが多かったこの日は上マークまでのタックを何度も楽しむことが出来ました。

今回、このタックを楽しむというスタンスでのセーリングをした中で自分の中で一つ発見があったように感じました。いままで私はあまりタックが好きではなかったのも、少しの振れなどでタックタイミングを悩んだ末に時間切れで逃すということが多かったような気がしました。それが今回、自分でタックだと感じたところで迷いなくタックが出来たことでコース取りが良くなったように感じました。今回は計2レースのためアップウィンドは4回ありました。その中で1回はブローを外してしまい失敗しましたが、その他3回は自分の中ではいいコースが引けたように感じました。確かにボートスピードが良かったことなども要因の一つだと思いますが、私の考えるコース取りが向上した大きな要因は迷いなくタックが出来たことだったのではないかと考えています。

自分の中でコース取りというのは大きな課題の一つであったため、今回感じたことが少しでもコース取り向上のヒントにしていきたいと思います。

軽風で難しいコンディションの中での運営、本当にありがとうございました。

初めてのスタンダードをととても楽しむことが出来ました。

またこれからもよろしくお願いします。

廣瀬 翔大